

	北波多小学校 学校だより6号	北波多小だより	令和8年6月29日発行 文責 校長 庭木 繁久
---	-------------------	------------------	----------------------------

唐津市教育の日（授業参観・引渡し訓練）



14日（日）の「唐津市教育の日」には、一般の方の参観も含め、延べ382名の方に来校いただきました。ありがとうございました。4月に授業参観から、久しぶりの授業参観となりましたが、少し成長した子供たちの様子を感じられたのではないかと思います。

また、午後からの引渡し訓練も保護者の皆様の御協力のおかげで無事に行うことができました。大雨だけでなく、他の災害等も含め、緊急事態の際には、今回の訓練のように実施しますので、はなまるメールで配信しました引渡し訓練に係るデータは、御家庭でも保存しておかれてください。

本に親しむ「かたつむり祭り」（図書館祭り）

6月17日（水）～19日（金）の期間、「かたつむり祭り」が開かれました。雨の日が多くなる梅雨時期に読書に親しむことを目的として実施しています。休み時間になると、多くの子供たちが図書館に通い、本に親しんでいます。

文部科学省の見解では、読書メリットについて次のように示されています。①子供は言語を学び、コミュニケーション能力を高めることができる。②感性を磨き、表現力を豊かにする助けとなる。③探究心や真理を求める態度を培い、学びの基礎を形成する。④「読む喜び」を育み、生涯にわたる学びを助ける。⑤子供の頃の読書活動は、成人後の非認知能力にも良い影響を及ぼす。

この取組をきっかけに、少しでも本を好きになる子供たちが増えて、全員が年間目標冊数を達成できたら嬉しいです。



年間目標冊数	低学年 100冊	中学年 85冊	高学年 60冊
--------	----------	---------	---------

平和集会…これからの生活へ生かしていきたい！

26日（金）は、平和集会を行いました。平和集会では、次のような目標を掲げ、学年のねらいを設定しています。

【目標】(1)戦争の悲惨さを知り、平和の尊さを考えさせる。

(2)身近な問題に目を向けさせ、他を思いやる豊かな心情を育てる。

(3)自分も平和な世界を築くために貢献すべき一員であることを自覚させる。

【学年のねらい】

戦争の恐ろしさと愚かさに関心を向けさせ、命を大切に、平和な社会の実現を目指して努力する子どもを育てる。

【低学年】身の回りの人・生き物を思いやることのできる子ども。

【中学年】身の回りの出来事を、「命を守る」という観点で見つめ直すことができる子ども。

【高学年】平和な次代を担うため、社会の出来事に目を向けるとともに、いじめや非行を許さない子ども。

当日は、6年生から平和に関する劇の発表があり、これからの生活における平和に向けて誓いの言葉を全校で伝え合いました。

児童の感想交流の言葉から、どの学年も良い学びをしていたことが伝わりました。だからこそ、この学びを無駄にすることなく、言葉や行動に移すことが大切であることを子供たちには伝えました。

今年で終戦から81年を迎えます。戦争を体験した方も少なくなり、戦争を知らない世代が増えているのが現状です。しかし、決して風化させることなく、戦争の悲惨さや平和の尊さを将来にわたって私たちは語り継がなければなりません。

一人一人がよりよくつながり、身近な自分にできることから始めていくことが「笑顔と思いやりがあふれる学校」の実現に結び付くと信じています。



7月の主な行事予定

1日（水）委員会活動

2日（木）縦割り遊び（室内）

3日（金）4年カヌー体験

6日（月）大掃除週間

夏休み図書貸し出し週

7日（火）6年租税教室

10日（金）個人懇談週間（～22日）

短縮4時間授業（～16日）

17日（金）1学期終業式